

# 社会福祉法人桔梗会



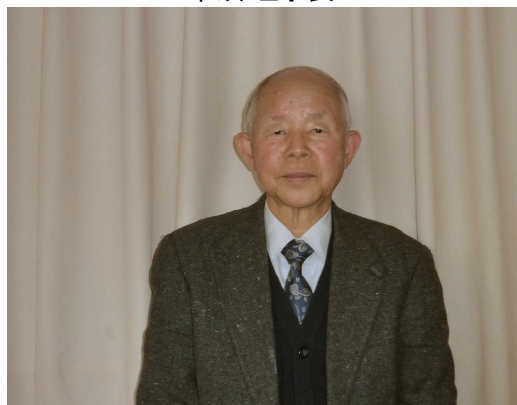
所在地：沼田市横塚町957-2  
労働者数：106名（女性77名、男性29名）  
事業内容：特別養護老人ホーム「ききょうの里」等の運営  
代表者：理事長 松井 文男

## 優秀な人材の確保のために

介護業界に抱かれがちな「3K」のイメージを払拭し、優秀な人材の採用・定着を実現するため、職員の子育て支援を進めています。公共性の高い社会福祉法人として、「より良い企業」であり続けるためにも、仕事と育児を両立しやすい環境整備に取り組んでいます。

最大の目的は、施設を利用する方々の幸せですが、そのためには、サービスを提供する職員自身が安心して働くことができ、幸せになることが重要。子育て支援は、総合的には法人にとっての利益に繋がっています。

松井理事長



## マイナスのイメージをプラスに変える

育児休業について、「他の職員に迷惑をかけるのでは」という労働者の懸念や、育児を終えた世代の職員から「昔はそんなに優遇されていなかった」という声などもありました。

そこで、仕事と育児の両立をプラスのイメージに変えるべく、積極的に職場で話し合いを持ち、勤務体制への影響を減らし、職員全員にとって「良い環境」となることを目指しています。

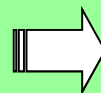
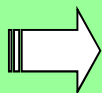


### 子育て支援の効果

「3K」イメージが払拭され、企業イメージが向上した。

優秀な人材の採用や定着に繋がる。

職員や利用者がみな幸せになり、笑顔の絶えない職場になる。



## 桔梗会の概要を紹介します。

- ・**特別養護老人ホーム ききょうの里**…入浴や排泄、食事などの介護、その他機能訓練や健康管理療養等も行います。
- ・**ききょうヘルパーステーション**…訪問介護員が自宅へ訪問し、入浴や排泄、食事等の介護・援助をするサービスです。
- ・**ききょうデイサービスセンター**…日帰りで、入浴や排泄、食事等の介護・援助、機能訓練のレクリエーション等を行います。
- ・**ききょう短期入所生活介護事業所**…施設へ短期間入所し、入浴や排泄、食事等の介護・援助、その他機能訓練や健康管理療養等を行うサービスです。

この他、ききょうデイサービスセンター岡谷、ききょうの里居宅介護支援事業所等があります。

## 育児休業からの円滑な復帰に向けた支援

**育**児休業取得者には、定期的に職場に来ていただき、職場の様子はどう変わったかなどを情報交換します。また、業務分担の見直しの相談や、本人からの業務軽減の要望等を聞きながら、スムーズな職場復帰に配慮しています。

**短**時間勤務については、子が小学校就学の始期まで利用可能で、女性1名が利用中。「育児をのびのびすることができると、短時間でも働けるから収入面でも助かる」という声を聞いています。



## 男性の育児休業取得率100%

**最**初に育児休業を取得したのは、人事担当者である総務課長の堤さん。「男性も育児休業を取得し、育児に参加すべき」というイメージ作りを進め、これまで6名の男性が育児休業を取得。取得率は100%です。

(育児休業を取得した、相談員の原澤さんのコメント)  
平成25年10月に3人目の子供で育児休業を取得しました。7日以内であれば有給扱いになるため、大変助かりました。育児休業期間中は妻が入院しているので、上の子の面倒や家事を行い、子供との絆が深まりました。

育児休業を取得した原澤さん



## 育児・介護休業制度の概要及び実績

- ・**育児休業**…原則として子が1歳に達するまで、特別な事情があれば1歳6か月まで取得可能。7日以内であれば有給。男性6名、女性2名が取得(男女ともに取得率は100%)。妊娠や出産等を理由に退職した職員はおらず、出産前に主任として勤務していた女性は、復職後も主任として活躍。
- ・**育児短時間勤務制度**…子が小学校に入学するまで利用可能。女性1名が利用。
- ・**子の看護休暇**…子が小学校に入学するまで、病気等の看護のため、子が1人の場合は年5日間、2人以上の場合は年10日間取得可能。半日単位又は時間単位で取得できる。
- ・**介護休業及び介護短時間勤務**…要介護状態の家族介護のため、通算93日間利用可能。女性3名が介護休業を取得。

※ 取得率等のデータは、平成22年7月～平成25年12月までの実績

# 桔梗会は、働き方の見直しを進めています。

## 有給休暇の取得促進

- ・年次有給休暇の取得率は65.17%。半日や時間単位での取得も可能で、積極的な取得を促しています。
- ・リフレッシュ休暇として、非常勤職員を含めた全職員に対する、年間3日間の有給休暇を新設しました。

## 時間外労働の削減

- ・毎週金曜日をノー残業デーに設定し、時間外労働を削減できるよう、業務内容等を改めました。
- ・各部署で次世代育成支援の研修を行い、子育てを必要とする職員に対して部署内で配慮するよう促しました。

## イクメンプロジェクトへの参加

イクメンプロジェクト（厚生労働省の事業）へ参加し、サポーターとして宣言を登録しています。

### （宣言の抜粋）

- ・子供の誕生日や学校行事への参加のため、積極的に年次有給休暇を取得できるよう、職場環境を整備します。
- ・業務改善や「ノー残業デー」の実施により所定外労働を短縮し、職員会議は効率よい進行で時間短縮できるように工夫します。
- ・男性職員が育児に参加しやすい職場環境にするため、業務の効率化や担当業務の変更等を行います。



## くるみんマークを人材確保に活用

くるみんマークは、ホームページや会社案内、名刺、求人広告等に表示し、子育てに優しい企業であることをアピールし、人材確保に繋がっています。

今後は、育児休業を取得しやすいイメージ作りを引き続き行うとともに、子育てをしていない職員については、時間外労働の削減や、年次有給休暇の取得を呼びかけていきます。

### くるみんマークの活用



堤 総務課長



### 福祉業界への就職・転職・再就職を考えている方へのメッセージ

介護の仕事はとてもやりがいがあり楽しい仕事というイメージが定着するよう、これからもさらに働きやすい職場環境作りを目指します。又、他の企業においても積極的に育成支援に取り組んで頂けるよう心から願います。